

今週の活動から



3月26日(土)～29日(火)に、本厚木駅東口地下道にぎわいトライアルの実証実験が行われました。暗い、寂しいと言われる地下道のイメージアップを目指し、新しい魅力を創出する

取り組み。照明の色彩や、匂を発信するプロジェクションマッピング(今回は桜の映像)、テーブルと椅子を並べた憩いの場。通行人にアンケートをしていました。(上:釘丸久子議員)



3月27日(日)厚木北消防署清川分署の落成・開署式。厚木市には消防本署と北消防署、6分署があり、それぞれ受け持ち地域が決まっています。

消防広域化により清川村に初めての常備消防が整備されました。スタートは4月1日。敷地面積992㎡、建物は鉄骨造2階建433㎡、建設費1億8397万円。配置は分署長含め11人。高規格救急自動車、消防ポンプ車、資機材搬送車を1台ずつ配備。高規格救急自動車は神奈川県トラック協会から寄付されました。(下:栗山香代子議員)

安保条約は日本の防衛と安全に関係ない

報道の自由度 世界180か国で61位



あつぎ・九条の会10周年記念
孫崎享さん講演会
「集団的自衛権と憲法」

3月24日(木)あつぎ・九条の会10周年記念の講演会が開かれました。講演をしたのは孫崎享さん。外務省出身で、ソ連、米国、イラク、イランなどの大使館に勤務、防衛大学校教授も務めました。

なぜ、このような経歴の孫崎さんが、今の安倍政権を厳しく批判するのか? 集団的自衛権行使容認の閣議決定や安保法制(戦争法)に反対するのか?

彼の言葉で言えば「私が変わったのではない。外務省の方針が変わった。政府の方が変わったのである」。

集団的自衛権は日本の防衛と安全には全く関係ない。

日米安保条約について、

アメリカのダレス長官は「アメリカは日本防衛の義務を全く負っていない」と明言している。

2015年の日米ガイドラインでは「日本が攻撃された時、日本は主体的に行動する。アメリカは必要に応じて行動する。義務ではない」となっている。

今、日本はすべての分野であるべき姿が崩壊している。外務省はアメリカの言うとおりになっている。

一番の危険性は報道の自由と発言の自由がなくなったことだ。安倍首相は恫喝によりメディアを支配している。クローズアップ現代の国谷裕子さんは「時代が大きく変化する中で、物事を伝えることが難しくなった」と言っている。女優の木内みどりさんは「脱原発」を言ったために、衣装合わせまでしていた番組を降ろされた。

「世界報道自由度ランキング」の2015年版では、日本は180か国中61位と先進国の中では例外的に低い。報道の自由の危険が今の事態をいっそう深刻なものにしている。

話題あれこれ

アミューの地下駐車場は?

3月28日(月)の午後7時から、アミューあつぎ606で、「アミューあつぎ」における駐車場の位置変更等に係る大規模小売店舗立地法に基づく説明会が開かれました。大規模小売店舗立地法では、設置者は駐車場と騒音について配慮すべきと定め、新設・変更時には県に届出をし、説明会をすることが義務付けられています。

厚木市は現在86台としているアミュー地下2階の駐車場の変更を、2月に県に届出しました。県の公告・縦覧等の手続きを経て、10月中旬に変更の予定です。変更後はアミューに障害者用1台、中町立休駐車場に15台の計16台をアミューの駐車場とするものです。開館から2年間の実績に基づき16台にしたとのことですが、今後は地下駐車場をリニューアルするため平成29年度に向け予算要求し、議会を経て29～30年度に35台程度で供用開始をしたいとの説明でした。

私たちは安倍内閣の危険な実態を正しく知り、それを拡散していかなければならない。

外交官としての長い経験による国際的分析、史実に裏打ちされた領土問題など、歯に衣着せぬ物言いで、1時間半があっという間でした。歴史を学ぶこと、自分たち自身で情報を発信する重要性を改めて感じました。